

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

葛根湯エキス顆粒クラシエ (カクコントウ)

特 徴

- 「葛根湯」は、漢方の古典といわれる中国の医書「傷寒論」シヨウカンロン「金匱要略」キンキョウヨウリョクに収載されている薬方です。かぜや肩こりなどに効果があります。
- かぜのひきはじめて、発熱して体がゾクゾクし、「さむけ」がとれないような症状に効果があります。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

次の人は服用しないでください

生後3ヵ月未満の乳児



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）
- (4) 胃腸の弱い人
- (5) 発汗傾向の著しい人
- (6) 高齢者
- (7) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
- (8) 次の症状のある人
むくみ、排尿困難
- (9) 次の診断を受けた人
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

| 関係部位 | 症 状 |
|-------|---------------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消 化 器 | 悪心、食欲不振、胃部不快感 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。

その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称 | 症 状 |
|-----------|---|
| 肝 機 能 障 害 | 全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。 |
| 偽アルドステロン症 | 尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。 |

- (2) 1ヵ月位（感冒、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくならない場合

3. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談してください

効 能

感冒、鼻かぜ、頭痛、肩こり、
筋肉痛、手や肩の痛み



感冒



頭痛

(裏面につづきます)

用法・用量

次の量を1日3回食前又は食間に水又は白湯にて服用。

| 年齢 | 1回量 | 1日服用回数 |
|-----------|------|--------|
| 成人（15才以上） | 1包 | 3回 |
| 15才未満7才以上 | 2/3包 | |
| 7才未満4才以上 | 1/2包 | |
| 4才未満2才以上 | 1/3包 | |
| 2才未満 | 1/4包 | |

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2)1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。

成分

成人1日の服用量3包(1包1.0g)中、次の成分を含んでいます。

葛根湯エキス（1/2量）……………2,600mg

〔カッコン4g、マオウ・タイソウ各2g、ケイヒ・シャクヤク各1.5g、カンゾウ1g、ショウキョウ0.5gより抽出。〕

添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、乳糖、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールを含有する。

〈成分に関連する注意〉

本剤は天然物(生薬)のエキスを用いていますので、顆粒の色が多少異なることがあります。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)使用期限のすぎた商品は服用しないでください。
- (5)1包を分割した残りを服用する時は、袋の口を折り返して保管し、2日をすぎた場合には服用しないでください。



健康アドバイス

●体を休めましょう



かぜを早く治すためには睡眠を十分にとって、体を安静に保つことです。また、体力をつけるため、栄養のバランスの取れた食事をこころがけましょう。

●換気に気を つけましょう



空気が汚れていると、咳を誘発することにもつながります。暖房中でも、ときどき窓を開けて新鮮な空気と入れ替えましょう。湿度の低下にも注意してください。

●体を温めましょう



かぜをひいた時は、胃腸に負担をかけないおかげや、温かいミルクなどが適しています。また、体を温めるには「しょうが湯」を飲むのも一つの方法です。

副作用被害救済制度の問合せ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
☎ 0120-149-931

本剤について、何かお気づきの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

クラシエ薬品株式会社 お客様相談窓口 ☎ (03) 5446-3334
受付時間 10:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

ホームページ www.kracie.co.jp

発売元 **クラシエ薬品株式会社**
東京都港区海岸3-20-20 (〒108-8080)

製造販売元 **クラシエ製薬株式会社**
東京都港区海岸3-20-20 (〒108-8080)